

第1回

「西誓寺文書から見る部落民衆の姿」(仮)

▶講師：植村満さん（部落史研究会ささやま事務局長）

▶日時：2017年5月20日（土）14：00～16：00

▶場所：兵庫県立のじぎく会館（ふれあいルーム）

神戸市中央区山本通4丁目22番15号／TEL：078-242-5355

江戸時代、皮多村の人たちは厳しい差別のなか、生活条件の悪い土地で貧しい生活を送っていた……というような印象をお持ちの方もいらっしゃると思います。しかし、それは一面にすぎません。皮多の人たちが必ずしも貧しかったわけではありません。地域によっては、周囲の村よりも多くの田畑を持ち豊かな村もありました。他の村と同様に貧しい人もいれば富裕な人もいました。厳しく差別されていたといっても、それに抗っていく強さもありました。また、皮多村と周囲の村々との間には、様々な交流があり、互いに協力し合うこともあり、差別する側、される側というような単純な関係ではありませんでした。

篠山市川西の西誓寺には江戸時代からの文書や記録が残されています。その中心は1798年（寛政10）から1868年（慶応4年）まで代々の住職によって書き継がれた「日々年代記」です。現在、この西誓寺文書は、部落史研究会ささやま（2006年発足）の人たちにより解説が進められており、江戸時代の皮多村の生き活きとした暮らしぶりが明らかになっています。

2017年度第1回の人権歴史マップ連続セミナーでは、講師に部落史研究会ささやま事務局長の植村満さんをお迎えし、西誓寺文書から近世の被差別部落の暮らしと文化についてご講演いただきます。

■ 第2回

「部落差別の発生経緯と 近世部落の実相」

講師：寺木伸明さん
（桃山学院大学名誉教授）

日時：7月8日（土）
14：00～16：00

■ 第3回

「但馬在日朝鮮人の軌跡」

講師：太田 修さん
（同志社大学教授）

日時：9月16日（土）
14：00～16：00

■ 第4回

「朝日新聞阪神支局襲撃事件」

《フィールドワーク》

日時：11月18日（土）
14：00～16：00

■ 第5回

「兵庫の朝鮮通信使」

講師：未定

日時：2018年3月予定

※詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

※連続セミナーにすべて参加された方には「修了書」をお渡しいたします。

※参加資料代：・フィールドワーク以外の回

【一般】800円 【会員・定期購読者・学生】500円

・フィールドワークの回はその都度お知らせします。

※なお、講師、内容等が変更になる場合もございます。ご了承ください。

▶お申込み・お問い合わせは…

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280／メール：blrhyg@extra.ocn.ne.jp